

平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年2月10日

上場取引所 東

上場会社名 永大化工株式会社

コード番号 7877 URL <http://www.eidaikako.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 服部憲治

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役

(氏名) 浦 義則

TEL 06-6791-3355

四半期報告書提出予定日 平成27年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第3四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	4,643	5.1	133	46.1	183	61.7	170	82.6
26年3月期第3四半期	4,418	16.8	91	△7.6	113	20.6	93	8.0

(注) 包括利益 27年3月期第3四半期 230百万円 (2.3%) 26年3月期第3四半期 225百万円 (139.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	26.97	—
26年3月期第3四半期	14.76	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第3四半期	8,038	6,148	76.5	970.67
26年3月期	7,876	5,957	75.6	940.56

(参考) 自己資本 27年3月期第3四半期 6,148百万円 26年3月期 5,957百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	8.00	8.00
27年3月期	—	0.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	8.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,250	△1.3	205	21.2	210	1.3	195	1.7	30.78

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する情報(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

27年3月期3Q	7,300,000 株	26年3月期	7,300,000 株
27年3月期3Q	965,737 株	26年3月期	965,737 株
27年3月期3Q	6,334,263 株	26年3月期3Q	6,334,498 株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入試している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策や金融政策を背景に企業収益や雇用情勢の回復から設備投資および国内経済は緩やかな回復基調が続いておりますが、個人消費は、消費税率引き上げ前の駆け込み需要の反動の影響が和らぎつつありますが、円安等による物価上昇に伴う実質所得低下の影響などから弱めの動きが続いております。一方、米国経済は順調に景気拡大を維持しておりますが、欧州経済の停滞や新興国経済の減速懸念、中東やウクライナ情勢悪化による地政学的リスクの高まり、円安進行による原材料価格の上昇、急激な原油価格の下落など、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような経済環境のもと、当社グループにおきましては、中長期的な経営戦略として徹底した体質改革及びコスト競争力のある生産調達ルートの確立と商品開発力の強化に注力するとともに、国内外において顧客ニーズに対応した商品の提案を推進し、特に海外ではベトナム及び中国の子会社を拠点とした積極的なビジネス展開を図ってまいりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間におきましては、売上高4,643百万円（前年同期比5.1%増）、営業利益133百万円（前年同期比46.1%増）、経常利益183百万円（前年同期比61.7%増）、四半期純利益170百万円（前年同期比82.6%増）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

〔自動車用品関連〕

自動車用品関連につきましては、国内の自動車産業は4月から6月までは消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の受注残などに支えられ、夏場以降は需要の低迷が続いておりますが、当社OEMフロアーマットの売上は、ハイブリッド車や軽自動車等の国内新車販売および輸入車販売が堅調に推移したことから、売上高3,276百万円（前年同期比6.0%増）、営業利益131百万円（前年同期比60.7%増）となりました。

〔産業資材関連〕

産業資材関連につきましては、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要による反動減があったものの、冷蔵庫・エアコン等の家電用部材及び半導体などの電子部品向け保護用部材マガジンスティック等は順調に推移しましたが、利益面においては円安による輸入コスト上昇等の影響から、売上高1,366百万円（前年同期比2.9%増）営業利益1百万円（前年同期比84.1%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

＜資産の部＞

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は8,038百万円となり、前連結会計年度末と比較して162百万円の増加となりました。

流動資産の合計は5,024百万円となり、前連結会計年度末と比較して134百万円の増加となりました。その主な要因は、現金及び預金の増加193百万円、受取手形及び売掛金の減少122百万円、有価証券の減少141百万円、たな卸資産の増加222百万円によるものであります。

固定資産の合計は3,013百万円となり、前連結会計年度末と比較して27百万円の増加となりました。その主な要因は、有形固定資産の減少37百万円、投資その他の資産の増加64百万円によるものであります。

＜負債の部＞

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は1,889百万円となり、前連結会計年度末と比較して28百万円の減少となりました。

流動負債の合計は1,388百万円となり、前連結会計年度末と比較して5百万円の減少となりました。その主な要因は、電子記録債務の増加45百万円、賞与引当金の減少57百万円によるものであります。

固定負債の合計は501百万円となり、前連結会計年度末と比較して23百万円の減少となりました。その主な要因は、退職給付に係る負債の減少26百万円によるものであります。

＜純資産の部＞

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は6,148百万円となり、前連結会計年度末と比較して190百万円の増加となりました。その主な要因は、利益剰余金の増加131百万円、繰延ヘッジ損益の増加18百万円、為替換算調整勘定の増加31百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年3月期の業績予想につきましては、平成26年5月9日に公表いたしました業績予想に変更はございません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(退職給付に関する会計基準等の適用)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更、割引率の決定方法を従業員の平均残存勤務期間に近似した年数に基づく割引率から、退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第3四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る負債が10,932千円減少し、利益剰余金が10,932千円増加しております。また、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,485,800	1,679,088
受取手形及び売掛金	1,568,718	1,446,560
有価証券	141,660	-
商品及び製品	685,486	937,110
仕掛品	121,542	123,318
原材料及び貯蔵品	648,352	617,373
繰延税金資産	88,170	78,247
未収入金	82,125	76,629
その他	68,229	66,477
流動資産合計	4,890,085	5,024,805
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	729,722	694,893
土地	1,544,809	1,544,809
その他(純額)	207,619	205,375
有形固定資産合計	2,482,151	2,445,077
無形固定資産		
土地使用権	204,365	206,483
その他	21,551	19,281
無形固定資産合計	225,916	225,764
投資その他の資産		
投資その他の資産	278,732	342,762
貸倒引当金	△661	-
投資その他の資産合計	278,070	342,762
固定資産合計	2,986,138	3,013,604
資産合計	7,876,224	8,038,409
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	480,545	501,584
電子記録債務	583,698	628,936
短期借入金	50,000	50,000
1年内返済予定の長期借入金	16,800	12,200
未払法人税等	31,744	10,310
賞与引当金	92,715	34,842
役員賞与引当金	12,000	10,000
その他	126,237	140,686
流動負債合計	1,393,740	1,388,561
固定負債		
長期借入金	8,000	-
繰延税金負債	14,070	20,622
再評価に係る繰延税金負債	326,740	326,740
役員退職慰労引当金	26,324	32,691
退職給付に係る負債	143,626	116,769
その他	5,981	4,569
固定負債合計	524,743	501,393
負債合計	1,918,483	1,889,954

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,241,700	1,241,700
資本剰余金	1,203,754	1,203,754
利益剰余金	3,289,207	3,420,270
自己株式	△236,377	△236,377
株主資本合計	5,498,284	5,629,347
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	9,541	13,178
繰延ヘッジ損益	3,037	21,290
土地再評価差額金	431,493	431,493
為替換算調整勘定	76,297	107,688
退職給付に係る調整累計額	△60,912	△54,543
その他の包括利益累計額合計	459,456	519,107
純資産合計	5,957,740	6,148,454
負債純資産合計	7,876,224	8,038,409

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
売上高	4,418,718	4,643,400
売上原価	3,348,596	3,448,702
売上総利益	1,070,121	1,194,698
販売費及び一般管理費	979,054	1,061,672
営業利益	91,067	133,025
営業外収益		
受取利息	3,114	608
受取配当金	486	1,452
受取賃貸料	21,870	-
為替差益	11,759	54,712
その他	11,492	5,353
営業外収益合計	48,722	62,126
営業外費用		
支払利息	5,088	4,128
賃貸費用	19,171	-
社葬関連費用	-	4,076
その他	2,219	3,728
営業外費用合計	26,479	11,933
経常利益	113,310	183,219
特別利益		
固定資産売却益	247	268
投資有価証券売却益	-	559
特別利益合計	247	827
特別損失		
固定資産処分損	1,002	43
特別損失合計	1,002	43
税金等調整前四半期純利益	112,555	184,002
法人税、住民税及び事業税	18,353	13,914
法人税等調整額	677	△717
法人税等合計	19,031	13,197
少数株主損益調整前四半期純利益	93,524	170,804
少数株主利益	-	-
四半期純利益	93,524	170,804

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	93,524	170,804
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	21,589	3,637
繰延ヘッジ損益	4,341	18,253
為替換算調整勘定	105,752	31,391
退職給付に係る調整額	-	6,368
その他の包括利益合計	131,684	59,651
四半期包括利益	225,208	230,456
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	225,208	230,456
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

セグメント情報

I 前第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		
	自動車用品関連	産業資材関連	計
売上高			
外部顧客への売上高	3,091,037	1,327,681	4,418,718
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	3,091,037	1,327,681	4,418,718
セグメント利益	81,852	9,215	91,067

(注) セグメント利益の金額の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		
	自動車用品関連	産業資材関連	計
売上高			
外部顧客への売上高	3,276,559	1,366,841	4,643,400
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	3,276,559	1,366,841	4,643,400
セグメント利益	131,561	1,464	133,025

(注) セグメント利益の金額の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。